

**2014年2月改訂(第4版、自主改訂)
*2006年2月改訂

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	61AM-4661
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月

貯法	室温保存
	注意:「取扱い上の注意」 の項参照
使用期限	容器又は外箱に表示

商品番号
J-17

漢方製剤
JPS 五苓散 料エキス顆粒〔調剤用〕

【組成・性状】

販売名	JPS 五苓散料エキス顆粒〔調剤用〕
剤形・色調	顆粒・淡褐色
におい・味	特異の芳香があり、わずかに甘味と苦味がある
含量:本剤 7.5g中	日局 タクシャ……6.0g 日局 チョレイ……4.5g 日局 ブクリョウ……4.5g 日局 ソウジュツ……4.5g 日局 ケイヒ……3.0g 上記の混合生薬より抽出した五苓散料乾燥エキス 2.4gを含有する。 添加物…ステアリン酸Mg、ショ糖脂肪酸エステル、 乳糖水和物

【取扱い上の注意】

直射日光をさけ、防湿に注意すること。開封後は湿気をさけ、
フタをよく閉めて保存すること。

【包装】

500g 750g(2.5g×300包) 105g(2.5g×42包)

【文献請求先】

ジェーピーエス製薬株式会社 営業部
〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-22
TEL (045) 593-2060

【効能・効果】

のどが渇いて、尿量が少なく、はき気、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症
水瀉性下痢、急性胃腸炎(しぶり腹のものには使用しないこと)、暑気あたり、頭痛、むくみ

【用法・用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、掻痒等
** 肝臓	肝機能異常(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP等の上昇)

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

3.高齢者への投与


一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4.妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

5.小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない。〕

*
 **ジェーピーエス製薬株式会社**
製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1
本社 横浜市都筑区東山田4-42-22